



東京金山会通信 No.6

天高く馬肥ゆる秋——。暑さも過ぎて、秋の空になり朝晩涼しくなりました。秋の収穫が待ち遠しいですね。

8月初旬、東京目黒区のスーパーで我が故郷金山産のニラ「達者de菜」を発見！生産者は有屋ファームさんとのこと。早速10束購入してニラ玉を作り、故郷の母親の味を楽しみました。また、8月15日にはマルコの蔵前のウェブカメラで金山まつりの山車を東京から懐かしく拝見しました。また、金山町ホームページ内東京金山会のページへ金山会だよりを掲載しました。ぜひご覧になってください！

●東京金山会親睦会のお知らせ

会員様との交流の輪を広げるために、親睦会を開催します。親しい方などとお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。食材は金山町のちょうほう屋より仕入れる予定です。故郷の味をお楽しみください。

▼日時 11月9日（土） 13時～16時

▼場所 東京金山会事務所

▼対象 金山にゆかりのある方ならどなたでも大歓迎

▼会費 2,000円

※申し込みは上記の藤山まで（ショートメール可）

問い合わせ

東京金山会 広報担当（藤山善夫）

☎080-5525-0435

✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp



⑥金山産のニラ「達者de菜」。最上広域にら部会の統一ブランドです。私は目黒区のスーパーで購入しましたが、どうやら都内の各スーパーやデパートで販売されているよう。東京で新鮮な地元野菜を食べられるのはとっても嬉しいことですね！お住まいの近くで探してみても？／⑥金山町のホームページから故郷の様子を「ウェブカメラ」で見ることが出来ます。カメラは365日24時間リアルタイムで閲覧可能。マルコの蔵と大堰公園の2箇所からの映像を楽しむことができます。ぜひご覧ください！

町立金山診療所だより

ほっとクリニック vol.128

予防接種のお話

町立金山診療所
小児科 藤山純一



今回はこどもの予防接種のお話です。

以前はこどもの予防接種といえば、B CG、三種混合、麻疹、ポリオ（内服）などが一般的でしたが、ここ10年くらいで非常に多くなってきました。現在こどもに使われている主なワクチンは、国が接種を勧めて自治体が費用を負担する定期接種では、次のものが一般的です。

●インフルエンザ菌b（細菌性髄膜炎の予防）●小児用肺炎球菌（細菌性髄膜炎の予防）●B型肝炎（輸血、血液製剤からの感染予防）●4種混合（ジフテリア、破傷風、百日咳、ポリオの予防）●BCG（結核の予防）●麻疹・風疹●水痘●日本脳炎●ヒトパピローマウイルス（中学1年女子、子宮頸ガンの予防）

個人が希望で受ける任意接種では、

●ロタウイルス（感染性胃腸炎の予防）

●おたふくかぜ●インフルエンザ

こどもの予防接種では、その病気に

かりやすい年齢になる前に受けておくこ

と、予防効果が長く続くように複数回受

ける必要があること、複数のワクチンの

同時接種がより効果があることなどの特

徴があります。そのため、以前に比べて

接種のスケジュールが混み合っているスケ

ジュールでは、生後2ヶ月に4種類から

開始し、3ヶ月5種、4ヶ月3種、5ヶ

月2種、7ヶ月1種、1歳3種、1歳1ヶ

月3種など、大変な忙しさで、うかうか

風邪も引かせられません。微熱や風邪の

ときにワクチンを受けて良いかと聞かれ

ることがありますが、軽い風邪症状や

37・5度以下の微熱のときは、ワクチン

の重要性をお話しして積極的に受けるこ

とをお薦めしています。ニコニコ顔で受

診した赤ちゃんに4本もの注射をして大

泣きさせるのは本当に心が痛みますが、

将来の健康のためと思って心を鬼にして

やっています。

予防接種を徹底してきたおかげで、乳

幼児で重症となる細菌性髄膜炎は激減、

結核・麻疹・風疹もほぼ消失、百日咳・

ロタウイルス胃腸炎もかなり減っています。

感染の機会の多い水痘、おたふくか

ぜ、インフルエンザでの効果はいまひとつ

の印象ですが、積極的に予防接種を受け

けて家族や学校・園での感染を減らし、

こどもの健康を守るようにしましょう。



Vol.18

山形大学の地域連携型サークル「Team道草」

道草だよりでは、彼らの町内での活動を紹介！

「金山町×大学生」で産まれる新たな可能性を模索します



お話を伺った樋渡さんと取材班とで記念撮影

広報かねやま9月号「道草便りvol.17」の内容に誤りがありました。下記のとおり訂正してお詫び申し上げます。

㊦内町地区 ㊦十日町地区

※本文中の表記も「十日町」ではなく「内町」となります。

三枝地区「三枝の元気印」

8月21日猛暑。三枝地区に突撃取材。

今回はどんな出会いがあるのかワクワクしながら、でも人がいない焦りを抱えながら（笑）、元氣溢れる樋渡さんというお父さんに会いました。

牧草や子牛を育てながら、熊のワナや鳥居まで作る何でも屋さん。小学生が登校する際、挨拶は樋渡さんから元氣よく何度も声をかけているのだとか。とにかく明るく元氣な地区の大陽のような存在です。私たちが取材の中でも終始笑われました。

そして、私たちがこれまで25地区ほど取材してきた中で、金山の一番の魅力は「人」だということを三枝地区の樋渡さんに出会って確信しました。

「三枝は面白いべ？」「今が楽しいんだ」と自信を持って、地区の自然の暮らしに身を任せて過ごしている姿を見たら、きっと三枝地区に移住したい！と思う若者はたくさんいると感じました。住んでいる人が楽しく生活している姿はすぐくっついていいと教えてくれた三枝地区でした。

ぶんばい

金山杉俳句会報 第四三二回

いきなりの雨に咽たら心太
十葉や記憶の底の郷の庭

星川 きえ子

夏帽子沈みかけたる陽に被せ
三峰の広田に開く稲の花

岸 あき子

朝焼けに美しき神室のシルエッ
故郷の月の露けき夜明けかな

高橋 洋子

乳母車やさしき合歡の風貫ふ
絵手紙に一句そへある涼新

鶴沼 よし子

封人の家や嬬が夏炉焚く
はらからの集へば嬉し鳳仙花

阿部 サタエ

かねやま紅風会

庭守や手入れの終へし七変化
初孫をひと目見せたき孟蘭盆会

荒屋 阿部 勝子

筆を持つ手には短かし長き夜
送り火や漂ふ想ひとめどなく

荒屋 関 喜美子

法師蟬ひと息ついてまた鳴けり
秋桜の揺れ合ふ中を歩みをり

菅 越 庄司 けみ子

水を飲み再び戻る踊りの輪
手花火や四つ並んだ膝小僧

七日町 青柳 キエ子

せゝらぎを追ふ風音や秋立てり
朝霧のカーテンひけり友の顔

七日町 柴田 栖静

山ひとつ道に生まれて夏終る
七夕や願ひ心は疾ふに過ぎ

羽 場 坂本 徳太郎

秋うらゝ遠野めぐりの河童淵
癒し風呂窓に張りつく青蛙

上 台 阿部 一步

郷の威や此処ぞとばかり山車の笛
物音をしばし呑み込む大西日

七日町 村松 奈風